

友好姉妹都市 宮城県栗原市へ職員を 災害応援派遣しました

6月14日に発生した地震で大きな被害を受けた宮城県栗原市では、2500世帯以上の水道が断水するなど、ライフラインの復旧が急務となりました。

あきる野市は、友好姉妹都市である栗原市と「災害時相互応援協定」を結んでいます。地震発生の日、栗原市からの応援要請を受け、上水道に関する技師の職員など7人が非常食(アルファ米)750食と飲料水(2リットルペットボトル)300本を車に乗せて被災地に向かいました。派遣した職員は現地に到着後、水道の復旧作業などに従事しました。

「岩手・宮城内陸地震」の被災地 水道の復旧活動に従事



被災地に向け出発する職員

義援金箱を設置

市では、被災した友好姉妹都市栗原市を支援するため、義援金箱を設置しています。皆さんの温かいご協力をお願いします。

期間 7月18日(金)まで
場所 市役所1階、五日出張所、秋川ふれあいセンター
問合せ 総務課庶務係
(直通)558-1332
(9)へ



自分で作付けした野菜が実る喜び健康づくり

日本の高齢化はさらに進み、超高齢社会の到来が現実のものとなっています。市では、高齢者が住み慣れた地域で、自立して生活ができるよう、介護予防や健康づくりを推進し、いつま

元気で
活気あるまちに

澄んだ空気、あふれる緑のあきる野市に、やっぱり住んでいてよかったと思える第二の人生を送っていただこうと、「ふるさと農援隊」を組織します。65歳から会員になれます。農作業を通して収穫の喜びや、体を動かす楽しさを味わっていただき、自然の中に身を置くすばらしさを体感して、「めざせ健康あきる野21計画」に掲げる「ふれあい いきがい 元気なまち」をみんなで作っていきましょう。

でも元気で暮らせるよう高齢者施策を進めています。
会員は65歳以上の方

「ふるさと農援隊」の会員は、市内在住で65歳以上の方を対象として、入会を希望する方が申し込みできます。

会員には
楽しみがいっぱい



農地周辺などをウォーキング

近隣市町と合同下見会を開催

あきる野市は、西多摩の3市1町と合同で、差し押さえた不動産を、官公庁オークション(ヤフーオークション)形式で公売します。

公売物件 絵画
時計、指輪、と
ころも、記念硬
貨など
参加条件 ヤフ
ーオークション
官公庁オークシ
ョンのホームページ
から事前登録
が必要で
す。

事前登録・参加
申込期間 7月
7月

詳しくは、市のホームページ
(http://www.city.akiruno.tokyo.jp/)
問合せ 徴税課収納係
(内線2442)へ

7月の 市税の納期

固定資産税 都市計画税) 第2期
国民健康保険税 第1期

差し押さえた物件を インターネットで公売

農地は、所有者の協力をいただき、市が借り上げま

農地の場所は
市内2か所を予定

農業経験者の
指導で安心

野菜作りはやったことがないという方も、作り方を指導する方がいますので、安心して会員になることができます。

問合せ 高齢者支援課高齢者支援係(直通)558-1953)

「ふるさと農援隊」の会員募集方法、農地の場所など詳しい内容は、7月15日号の広報でお知らせします。

農業体験をはじめ、その周辺を利用したのレクリエーションやウォーキングが楽しめる場所を予定しています。